

国語

〈家政学部、文学部、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部〉

問題番号	ページ	解答番号
㊦ 現代文①	4～8	◇1～◇5, 記1～記3
㊦ 古文	9～12	◇6～◇11, 記4～記5
㊦ 漢文	13～14	◇31～◇33, 記6～記7
㊦ 現代文②	15～19	◇34～◇38, 記8～記10

【注意事項A】

出願した学部・学科が指定する出題分野を解答してください。

学部・学科	出題分野			
	㊦ 現代文①	㊦ 古文	㊦ 漢文	㊦ 現代文②
家政学部 児童学科	○			○
家政学部 ライフデザイン学科	○			○
文学部 日本文学科	○	○	○	
社会情報学部	○			○
人間関係学部	○			○
比較文化学部	○			○
データサイエンス学部	○			○
短期大学部	○			○

注) 出願していない学部・学科の出題分野を解答しても採点されません。

【注意事項B】

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- 3 解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入してください。

(例) 解答番号 ◇10 に オ と解答する場合

解答番号	解 答 欄
◇10	アイウエオ カキク・・・ ○○○○●○○○・・・

- 4 解答が終わっても、試験終了時間まで退出することはできません。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

一 は、すべての受験者が解答する問題です。

解答用紙の解答欄のうち、

①

、

⑤

、

記1

、

記3

を使用します。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。

本部分については著作権上の制約により掲載することができません。

(豊永郁子「動物福祉に広がる支持 倫理的原則は人以外にも」『朝日新聞』令和4・2・17朝刊による。なお、省略や改変をしたところがある)

問一

空欄

A

に当てはまる語を、問題文中から漢字二字で抜き出して記せ。解答番号は

記1

問二

傍線部(1)「に」と文法的に同じ「に」を含むものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は

1

ア 新たに考え直す。

イ とくに異論はない。

ウ 走れるようになった。

エ 三時に待ち合わせる。

問三 傍線部(2)「この動機の前には文化も伝統も経済的利害もどんな理屈も無力である」とあるが、その理由として最も適当な

ものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **②**

ア 異文化の伝統を正しく理解することは、ほぼ不可能に近いから。

イ 血気盛んな若者に対して、理性的な判断を求めても無駄だから。

ウ 大切な存在を守りたい気持ちは、あらゆる利害に優先するから。

エ 肉食文化を打破しうるのは、暴力をも辞さない決意だけだから。

問四 傍線部(3)「この専制政治に対する闘争」とあるが、その内容として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、

マークせよ。解答番号は **③**

ア 動物を支配してきた人間を暴力によって打ち倒すこと。

イ 横暴な人間にもう一度痛みや苦しみを味わわせること。

ウ 人間の組織的な支配に愛や思いやりで対抗すること。

エ モノとみなされた動物に存在の尊厳を与えること。

問五 傍線部(4)「狼煙は上げられた」の意味として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号

は **④**

ア 結果が明らかになった

イ 行動の契機が示された

ウ 方針が決められた

エ 煙に巻かれた

問六 空欄

B

に当てはまる語を漢字二字で記せ。解答番号は

記2

問七

問題文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は

◇5

ア 動物を苦しめることを一切認めないヴィーガニズムは、米国や英国、EUなどの先進国で拡大している。

イ ピーター・シンガーは、人もすべての動物も同じ生物であるので支え合う必要があると主張している。

ウ 支配する側は、イデオロギーや社会的装置としてのレイシズムを利用して動物に対する虐待を肯定している。

エ ヴィーガニズムは、主に法学者や政治学者を中心に、支持する人々が増え続けている。

問八

二重傍線部(a)の漢字の読みをひらがなで記し、(b)～(d)のカタカナを漢字に改めよ。解答番号は

記3

二 は、文学部日本文学科の受験者が解答する問題です。

解答用紙の解答欄のうち、

6、11、

記4

記5

を使用します。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

慶長七年七月七日に、背中^(注1)に笈^{おび}などいふ物をかけつる人足^(注2)、痩せ黒み杖^{つゑ}にすがり、京の町を通れば、見る人、「あなおそろし。げにやらん、この頃は、地獄の釜のふたもあき、罪人聖^{しやうりやう}霊^{りやう}となり来るなると聞くが、さやうの者⁽¹⁾にや」といひあへるに、この者、店に寄りて「瓜^{うり}を一つ、いかほど」といへば、「二文^(注3)」とこたふ。腰にただ一文あり。「盆^(注4)の結縁^{けちえん}とおぼして、たまはらんや」と。「その分にもせん」とあり。

A

瓜^{うり}をとり、かしらよりかぶりくらひ、後、腰にはさみたる銭を見れば、落ちて

縄ばかりぞ候ひける。「瓜の主人⁽²⁾、慈悲とおぼしめし許し給へかし」と嘆^アくに、この人^(注5)、天然^{てんぜん}と慳^{けん}貪^{どん}にて、「沙汰^(注6)のかぎり、すりのたぐひとおぼゆるなり。出⁽³⁾でさせ給へ」と町の人を催し、瘦^{すく}せたる男を追ひたて、板倉^(注7)殿の坪^{へい}の内に引きすゑ、右の様子、つぶさに訴へ申す。人足^(注8)もありのまま言^{こと}上^{じやう}す。

伊賀守^{いがのかみ}聞き給ひ、「いづれも事の実否^{じつふ}を糾明^{きうめい}すべし。まづこの者を瓜売りに預くるに、二時の飯^(注9)を与へ、昼は町としてよきに番すべし」とて帰されけり。ただ一文の事にいらぬ儀をいひて、造作^(注9)するものとは思ひながら、一間^{ひとま}なる所におしこめ、番をすゑ、毎日の食をぞ与へける。

六日七日に及べども、糾明^ウなければこらへかね、おのおの参りて、「御糾明あれかし」と申^エすに、伊賀守、「事の多さに忘れて候ふ。今思案⁽⁴⁾するに、時は盂蘭盆^{うらぼん}、科^{とが}は瓜一つ、これほどの裁許は初めにすべかりしかど、瓜売りの慳貪^{けんどん}なる心根^{こころね}がにくさに延べつるぞ。飢^うゑにのぞみたる者を見ては、招きても与ゆべきに、せんかたなき者をとらへきて、銭一文のことに首をはねよとはなんぞ。慈悲をせさすべきために、この間は養はせたり。急ぎその者許しかへせ」と下知^{げち}あれば、その席にありし人、みな頭^{かうべ}をかたづけ、感涙^{かんだい}を流さぬはなかりし。

『醒睡笑^{せいすいしょう}』による

(注1) 笈……背負って運ぶ竹細工の箱。

(注2) 人足……力仕事に従事する労働者。

(注3) 二文……「文」は当時の小銭の単位。

(注4) 盆の結縁……盆(盂蘭盆)の期間に行う善行。

(注5) 天然と慳貪にて……生来の気質として、けちで欲深い人間であったので。

(注6) 板倉殿……板倉勝重^{かつしげ}。江戸時代初期の町奉行で、多くの訴訟を巧みに裁いた。後に出る「伊賀守^{いがのかみ}」と同じ。

(注7) 坪の内……取り調べにあたる場所。

(注8) 二時の飯……一日に二度ずつの食事。当時は一日二食が普通。

(注9) 造作……ここでは、手数がかること。

問一 傍線部(1)「者にや」の「や」と、文法的に同じ「や」を、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は

6

ア かの僧は、いとけなき時より、利発なりけるとかや

イ 今一度不審せばやと思ひ、わざと声をかくれば

ウ めづらしくやおぼしけむ、ひたもの食ひ給ふ

エ おそろしさに、あなやと叫びて倒れふす

問二 空欄 A に当てはまる語として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は

7

ア ひそかに

イ すなはち

ウ かたみに

エ ゆめゆめ

問三 傍線部(2)「慈悲とおぼしめし許し給へかし」を現代語訳せよ。解答番号は **記4**

問四 二重傍線部ア～エのうち、主語が他とは異なるものを一つ選び、マークせよ。解答番号は **8**

問五 傍線部(3)「出でさせ給へ」は、誰に向けて呼びかけている言葉か。最も適当な語句を問題文中から三字で抜き出して記せ。
解答番号は **記5**

問六 傍線部(4)「飢ゑにのぞみたる者を見ては、招きても与ゆべきに」の現代語訳として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **9**

- ア 空腹で施しを望んでいる者を見たら、こちらに招いて与えようと思うものなので
- イ ひどく飢えている者を見ても、こちらに招いて与えねばならないとは言えないので
- ウ 空腹で施しを望んでいる者を見た時には、必ずこちらから招いて与えてきたのに
- エ ひどく飢えている者を見たならば、こちらから招いてでも与えるはずなのに

問七 問題文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **10**

- ア 貧しい人足は、空腹のあまり、自分が一文も持っていないことを知りながら瓜を食べてしまった。
- イ 瓜売りは、瓜の代金を払わなかった人足を憎むあまりに、一日二度の食事も与えず拘束を続けた。
- ウ 伊賀守は、瓜売りと人足の事件をどう裁くべきか迷い、六、七日ほどの間決断を下しかねていた。
- エ 人足を長く拘束させたのは、瓜売りに人足を養わせて慈悲を行わせるための伊賀守の配慮だった。

問八 『醒睡笑』は江戸時代に成立した作品であるが、これと同じ時代に成立した作品を、次のア～エのうちから一つ選び、

マークせよ。解答番号は **11**

- ア 宇治拾遺物語 イ 落窪物語 ウ 雨月物語 エ 堤中納言物語

(A 200)

【三】は、文学部日本文学科の受験者が解答する問題です。

解答用紙の解答欄のうち、裏面の 31、33、記6、記7 を使用します。

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（設問の都合上、送りがなを省いた部分がある）

宣宗坐朝、次对官。趨至必待⁽¹⁾氣息平均、然後問事⁽²⁾。令

狐綯進⁽³⁾李遠⁽³⁾為⁽³⁾杭州。上曰「我聞李遠詩云『長日惟消⁽³⁾一

局碁⁽³⁾』何以⁽³⁾郡⁽³⁾」对曰「詩人言不足⁽³⁾有⁽³⁾実也。仍薦⁽³⁾廉

察可⁽³⁾任⁽³⁾」乃許⁽³⁾之⁽³⁾。

（『唐語林』による）

（注） ○宣宗……唐の皇帝。 ○次……次々に。 ○杭州……ここでは杭州の長官。 ○上……ここでは宣宗を指す。

○碁……囲碁。 ○郡……ここでは杭州を指す。 ○廉察……よく調べる。

問一

傍線部(1)「待気息平均」の意味として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は

31

ア 意気が合うようになるのを待ってから

イ 呼吸が落ち着くのを待ってから

ウ 脈が正しく刻まれるのを待ってから

エ 息が絶え絶えになるのを待ってから

問二

傍線部(2)「然後」を、すべてひらがなで書き下せ。解答番号は

記6

問三

傍線部(3)「何以」の意味を記せ。解答番号は

記7

問四

空欄

甲

に当てはまる語として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は

32

ア 飛

イ 登

ウ 臨

エ 防

問五

李遠の詩に対する皇帝の理解と、それに対する令狐綯の意見について最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **33**

ア 皇帝は一日で一局の碁を消化するのがやとだと理解しているのに対し、令狐綯は事実と解するには及ばないとしている。

イ 皇帝は一日で一局の碁を打つので充分だと理解しているのに対し、令狐綯は実際にはもつと打てるはずだと述べている。

ウ 皇帝は一日を一局の碁で過ごし満足していると理解しているのに対し、令狐綯は実際には満足できていないと述べている。

エ 皇帝は一日を一局の碁で過ごすだけであると理解しているのに対し、令狐綯は事実を述べているのではないとしている。

【四】は、家政学部児童学科・ライフデザイン学科、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学の受験者が解答する問題です。

解答用紙の解答欄のうち、裏面の◇34、◇38、記8、記10を使用します。

【四】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。

部分には上載とま
については著作権の
より制約のす
著のよりす
がで
せん。

(松本清張「運慶」『小説日本芸譚』による。なお、省略や改変をしたところがある)

(注1) 運慶……鎌倉時代初期の仏師。

(注2) 高野山……和歌山県にある真言宗の総本山。

(注3) 願主……神仏に願を立てる人。願を立てて仏像を作らせた人。

(注4) 重衡……平重衡。平安時代末期の武将。

(注5) 形而上……ここでは、形を持たない観念的なもののこと。

(注6) 天竺、震旦……「天竺」はインドの古称。「震旦」は中国の古称。

問一 傍線部(1)「頬ははてっていた」とあるが、その理由として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせ

よ。解答番号は

34

ア 暗く寒いお堂から、急に早春の陽ざしのもとに出たから。

イ 祖父の作った仏像を見て、興奮冷めやらなかったから。

ウ 祖父康朝が喰らった叱言を思い出し、恥ずかしかったから。

エ 父康慶のささやきを肝に銘じ、成功を誓ったから。

問二 空欄

A

に当てはまる語句を記せ。解答番号は

記8

問三 傍線部(2)「いま空気を吸っている現在の様式」とあるが、「現在の様式」の特徴を表した語句として最も適当なものを、

次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **35**

ア 様式の巧緻 イ 生々しい疎荒 ウ 異なった生命 エ 冷酷な精神

問四 空欄 **B** に当てはまる語句として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **36**

ア すなわち イ そのうえ ウ たといえば エ しかし

問五 傍線部(3)「その焼失」とあるが、何の「焼失」を指すか。問題文中から十字以内(句読点等は一字に数える)で抜き出して記せ。解答番号は **記9**

問六 傍線部(4)「かえって邪魔なのだ」とあるが、運慶が邪魔と考える理由として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **37**

ア 現在の様式が持続するのを助けるから。

イ 再び見ようとする欲求が起こるから。

ウ 眼前の具象が発想の自由を妨げるから。

エ 形而上の結像を補完するように働くから。

問七 傍線部(5)「この男を軽蔑した」とあるが、快慶の何を「軽蔑」したのか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マークせよ。解答番号は **38**

ア 焼失を嘆く信仰心 イ 悲惨に憤る人間性 ウ 仏像を惜しむ芸術性 エ 普通の人と同じ世俗性

問八

二重傍線部(a)のカタカナを漢字に改め、(b)・(c)の漢字の読みをひらがなで記せ。解答番号は

**記
10**

